

西北の風

SEIHOKU
NO
KAZE

2024.1 vol.23

CAMPUS NOW

早稲田大学広報

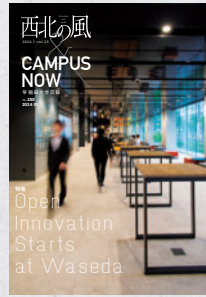
No. 250
2024/01

特集

Open
Innovation
Starts
at Waseda

CAMPUS NOW

早稲田大学広報 No.250 2024/01



表紙写真 Cover photo

早稲田大学 リサーチイノベーション
センター(121号館) 1Fロビー
(早稲田キャンパス)

Waseda University
Research Innovation Center (Building No.121)

<https://www.waseda.jp/inst/research/innovation/building121/>

発行 早稲田大学 広報室広報課©
〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104

P2 [特集] Open Innovation Starts at Waseda 早稲田オープン・イノベーション・フォーラム2023開催

P8 早稲田の今が分かる ニュースアーカイブ2023 News Archive 2023

学生・教職員・卒業生による研究や文化・スポーツでの目覚ましい成果、時代の先を行く施策により、社会に影響を与え続ける早稲田大学。
2023年の主なニュースを紹介します。

HEADLINE

- 1 岸田文雄首相、大隈講堂で講演
Prime Minister Fumio Kishida gives lecture at Okuma Auditorium
- 2 カーボンニュートラルへの取り組みが加速
Accelerating efforts to achieve carbon neutrality
- 3 キャンパスにあふれる笑顔と活力
「オープンキャンパス」、「ホームカミングデー／
稲門祭」開催
Campuses filled with smiles and energy:
"Open Campus" and "Homecoming Day & Tomonsai" events held
- 4 西原元総長お別れの会を執り行いました
Former President Nishihara's memorial gathering held
- 5 西早稲田キャンパス再整備52・53・54号館建て替え
Redevelopment of Nishiwaseda Campus:
Reconstructing buildings 52, 53, and 54

EDUCATION & RESEARCH

- 6 毎日の歩数と死亡リスクとの量反応関係を解明
Researchers explain relationship between number of steps
walked every day and mortality risk
- 7 5種類のヒト培養細胞から
新たな1,074種類の難溶性RNAを同定
Researchers identify 1,074 semi-extractable RNAs
across 5 human cell lines
- 8 英会話能力判定システムLANGX Speakingを
早大正規授業科目Tutorial Englishに正式採用
Waseda formally adopts LANGX Speaking system
to assess English speaking ability in Tutorial English courses
- 9 早稲田大学と慶應義塾大学が合同で
博士キャリアデザインカンファレンスを開催
Waseda and Keio hold doctoral career design conference
- 10 理工学術院鷲崎教授が
IEEE Computer Society会長に選出
IEEE Computer Society elects Waseda University Faculty of Science and
Engineering Professor Washizaki as President
- 11 早大の知を生かしたスタートアップ創成の推進
Using Waseda University knowledge to promote startup creation
- 12 早大スマートエッセイが事後評価にて最高位Sを獲得
Waseda University's Smart SE earns highest S rank in post-evaluation

- 13 寄付チェア制度による
研究力の向上と人材育成の強化
Endowed chair program improves research capabilities and
strengthens human resource development

CULTURE

- 14 歴史館の特別展に注目集まる
Special exhibitions attract attention at the History Museum
- 15 本庄早稲田の杜ミュージアム 来館者5万人達成
Honjo-Waseda no Mori Museum reaches 50,000 visitors
- 16 「Museum Week & 早稲田文化芸術週間」を開催
"Museum Week" and "Waseda University Culture & Art Week" held
- 17 「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」贈呈式
Presentation ceremony held for "Waseda Journalism Award
in Memory of Ishibashi Tanzan"

SPORTS

- 18 早稲田スポーツフェスタを4年ぶりに開催
Waseda Sports Festa held for the first time in four years
- 19 4年ぶり高田馬場から新入部員パレード
早稲田の街と交流深める
Parade of new student club members deepens interaction
between Waseda and the neighborhood
- 20 ゴルフ部・中野麟太郎がアマ日本一
男子選手初の快挙
Rintaro Nakano becomes top amateur golfer in Japan,
a first for a male member of Waseda's Golf Team
- 21 ア式蹴球部・Jリーグ、WEリーグ、なでしこリーグ
加入内定選手の記者会見を開催
Waseda University Association Football Club holds press conference
for players with informal offers from J.League/WE League/Nadeshiko
League

INTERNATIONAL

- 22 「Nobel Perspectives Live!」を開催
"Nobel Perspectives Live!" held
- 23 Citiグループ副会長による特別講義
Citigroup Vice Chairman gives special lecture

Open Innovation Starts at Waseda

特集

早稲田オープン・
WASEDA OPEN

撮影＝早稲田キャンパス大隈記念講堂、
リサーチイノベーションセンター(121号館)

イノベーション・フォーラム2023開催
INNOVATION FORUM 2023

リサーチイノベーションセンターで行われたステージプログラムの様子。ユニークなアイデアでビジネスに取り組む学生スタートアップ、イノベーションに挑む企業などがプレゼンテーションを行った



2023年11月9日、10日、早稲田大学は「早稲田オープン・イノベーション・フォーラム2023(WOI'23)」を開催しました。今年で4回目を迎えるWOIは、産学官連携の推進、大学発ベンチャーの紹介、文理融合や社会変革につながる研究の紹介、学外の関係者との連携に向けたマッチングなどを目的としており、ビジネス、アカデミズム領域の多くの関係者が参加するイベントです。

大隈記念講堂およびリサーチイノベーションセンター(121号館)を会場としたWOI'23では、日本経済を牽引するリーディングカンパニーのトップを中心としたさまざまなゲストを迎え、座談会やパネル・ディスカッションなどを実施。また、特設の展示ブースやステージプログラムにより、多くの学生や研究者、企業関係者が交流しました。

本特集では、2日間にわたるイベントの様子をご紹介します。サステナビリティや先端テクノロジーなど、激しく変化する世界の中で、人材育成や知財創出を可能にする「早稲田オープン・イノベーション・エコシステム」の姿をお届けします。

On November 9 and 10, 2023, Waseda University held the "Waseda Open Innovation Forum 2023(WOI'23)." This year was the fourth WOI, which is a forum that promotes industry-academia-government collaboration, introduces University ventures, introduces research that integrates the humanities and sciences and leads to social change, and promotes collaborations with parties outside of the University. The event attracts a large number of participants from the fields of business and academia.

A panel discussion, a symposium, and lectures given by several guests, including many top executives from leading companies that are driving the Japanese economy, were held at the Okuma Auditorium and the Research Innovation Center (Building No. 121). In addition, special exhibition booths and a stage program enabled exchanges between a large number of students, researchers, and businesspeople.

In a rapidly changing world, the "Waseda Open Innovation Ecosystem" enables the development of talented individuals and the creation of intellectual property in areas such as sustainability and advanced technology.

リサーチイノベーションセンター
(121号館)での開催は初

今年初めて会場となった121号館は2020年に竣工した研究開発棟。世界最先端の産学連携研究を実践する分野型のイノベーション活動推進、ベンチャー企業など新産業の創出などに取り組み、「教育」と「研究」に次ぐ大学の第三の役割である「社会価値創造」の実現を目指している



11.9

激変する世界、 サステナブル経営の あり方とは。

In a rapidly changing society,
what is sustainable management?

11月9日、大隈記念講堂にて、「早稲田出身のリーディング企業経営者による座談会」が行われました。座談会には、漆間啓氏(三菱電機株式会社 取締役 代表執行役社長CEO／商学部卒業)、根岸秋男氏(明治安田生命保険相互会社 取締役会長／理工学部卒業)、井上和幸氏(清水建設株式会社 代表取締役社長／大学院理工学研究科修了)、中田誠司氏(大和証券グループ本社 代表執行役社長CEO／政治経済学部卒業)、入山章栄 早稲田大学ビジネススクール教授(ファシリテーター)が登壇。今後のサステナブル経営や人的資本、人材育成について可能性を探っていきました。

三菱電機
漆間啓氏
Kei Uruma/Mitsubishi Electric Corporation



サステナビリティ課題に対し、製造業は本格的に取り組まなければなりません。家電から宇宙までさまざまな技術を持つ三菱電機は、知見を組み合わせることでアプローチしています。企業価値と社会貢献を“トレード・オン”の関係と捉え、両立させながら事業を推進させていく。そうした姿勢が重要であるはずです。

明治安田生命保険
根岸秋男氏
Akio Negishi/Meiji Yasuda Life Insurance Company



企業が社会的課題へ対応する際のポイントは、各社の本業の強みを生かすことです。全国に営業拠点のある明治安田生命では、健康寿命の延伸や地域創生の推進に注力しています。また、自社だけでできることは限られているため、産官学ならびに地域社会の方々と協業しながら、知恵を共有することが大切です。



On November 9, a symposium was held in the Okuma Auditorium with leading business executives who are also Waseda alumni. The participants that took the stage at the symposium included Mr. Kei Uruma (Member of Board, President and CEO of Mitsubishi Electric Corporation/Graduate from the School of Commerce), Mr. Akio Negishi (Chairman of the Board of Meiji Yasuda Life Insurance Company/Graduate from the School of Science and Engineering), Mr. Kazuyuki Inoue (President and Representative Director of Shimizu Corporation/Graduate from the Graduate School of Science and Engineering), Mr. Seiji Nakata (President and CEO of Daiwa Securities Group Inc./Graduate from the School of Political Science and Economics), and Mr. Akie Iriyama, Professor of Waseda Business School (Facilitator). They explored the possibilities for sustainable management, human capital, and human resource development going into the future.

清水建設
井上和幸氏
Kazuyuki Inoue/Shimizu Corporation



かつて当社で相談役を務めた渋沢栄一が説く、「論語と算盤」の理念、道徳と経済の合一説は、現代のサステナブル経営と一致します。物事を150年、200年といったスパンで考えなければ、本当の意味での持続性を確保することはできません。長期的な事業を担う建設会社として、未来社会に大きく貢献したいです。

大和証券グループ
中田誠司氏
Seiji Nakata/Daiwa Securities Group



金融の世界から見ても、国際的潮流は、株主資本主義からサステナブル経営へとシフトしています。収益源となる事業が社会に貢献していることは、もはや上場企業の“入場チケット”です。社会全体にもサステナビリティが根付きつつあるため、そうした環境で育った若い世代の力を生かすこともカギになるでしょう。

11.10

AIの社会浸透は、 日本のビジネスを どう変えるか。

What effect will the expansion of AI in
society have on Japanese Business?

11月10日には大隈記念講堂にて、「日本が世界に誇るトップ企業の社長によるパネル・ディスカッション」を開催しました。パネル・ディスカッションでは、いずれも早稲田大学出身である、トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長CEOの佐藤恒治氏(理工学部卒業)、パナソニック株式会社 代表取締役 社長執行役員CEOの品田正弘氏(商学部卒業)、ソニーグループ株式会社 取締役 代表執行役社長COO兼CFOの十時裕樹氏(商学部卒業)、ボストン コンサルティング グループ日本共同代表の秋池玲子氏(大学院理工学研究科修了／ファシリテーター)が登壇。学生を中心とした参加者に向け、AIや企業経営、人材育成のあるべき姿について語り合いました。



On November 10, a panel discussion with presidents of companies from Japan that lead the world was held in the Okuma Auditorium. The speakers, who were also graduates from Waseda University, included Mr. Koji Sato, President, Member of the Board of Directors, and CEO of the Toyota Motor Corporation (Graduate from the School of Science and Engineering), Mr. Masahiro Shinada, Chief Executive Officer of the Panasonic Corporation (Graduate from the School of Commerce), Mr. Hiroki Totoki, President, COO and CFO of the Sony Group Corporation (Graduate from the School of Commerce), and Ms. Reiko Akiike, Co-Chairperson-Japan of the Boston Consulting Group (Graduate from the Graduate School of Science and Engineering/Facilitator). The speakers talked about AI, corporate management, and the ideal form of human resource development.

トヨタ自動車
佐藤恒治氏
Koji Sato/Toyota Motor Corporation



有限な条件の中で推定を行うのが、AIが得意とする世界。車づくりでは材料組成の分析などで最適解を導いてくれます。しかし、AIが提案する車のデザインは、どこかっこ良くない。新しいものを生み出すプロセスでは、効率性とは反対側にある、意外性や創造性が重要なだと痛感しました。そこは人間が担うべきです。

パナソニック
品田正弘氏
Masahiro Shinada/Panasonic Corporation



パナソニックでも積極的にAIの活用を進めていますが、タスクが明確な仕事の場合、効率が飛躍的に向上するのは間違いありません。目先の業務、急いでやらなければならないような短期的な仕事はAIに任せ、人間はもっと長期的な未来を考えることに時間を費やす。そうした役割分担こそが、未来を育むのだと考えます。

ソニーグループ
十時裕樹氏
Hiroki Totoki/Sony Group Corporation



インターネットもリモートワークも、ビジネスの効率を飛躍的に高めました。しかし人間はクリエイティビティへの欲求があるため、忙しく働きつづけています。AIが登場し、製品やサービスの開発を学習させても、時代は常に新たなものを求めるでしょう。その新規性の領域では、人間が活躍しつづけるはずで

ボストン コンサルティング
グループ
秋池玲子氏
Reiko Akiike/Boston Consulting Group



テクノロジーは目まぐるしく進化するため、1年後には私たちに見える技術も変わるでしょう。しかし人間の本質的なところは、永遠に変わりません。学生の皆さんには、論点を探し、考え続けることを大切にほしい。絶対的な正解のない世界で、人間だけにできる大切なことにチャレンジしてみてください。

早稲田大学
入山章栄氏
Akie Iriyama/Waseda University



コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、地球規模の気候変動など、激変の時代を迎えている世界。企業経営のサステナビリティは、ますます重要化しています。企業や業界を横断するパートナーシップこそが求められているはずで

座談会の詳細は、
ウェブサイトからご覧いただけます。

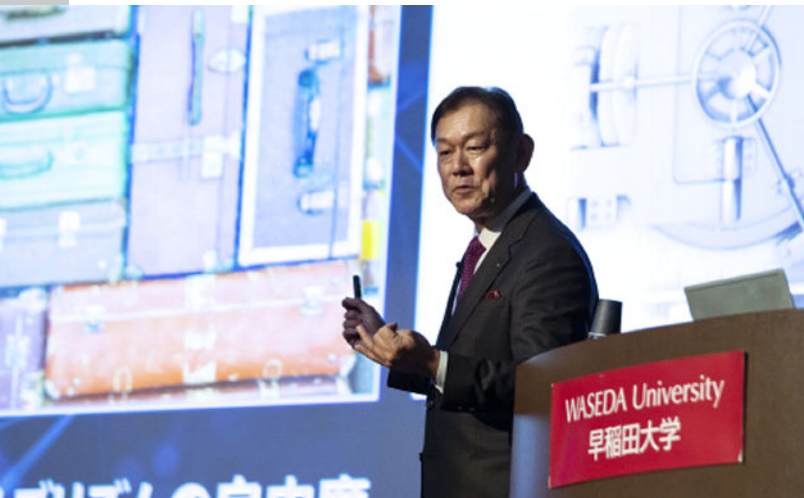


パネル・ディスカッションの詳細は、
ウェブサイトからご覧いただけます。



知の融合によって加速する、オープン イノベーション

Open innovation accelerated by the integration of knowledge



「NTT研究基調講演」で壇上に上がった、日本電信電話株式会社 代表取締役副社長 副社長執行役員CTO、CIO、CDOの川添雄彦氏。NTTと早稲田大学との共同研究は実績が多く、今後も連携を強化したいと語った



カーボンニュートラル社会研究教育センター（WCANS）設立1周年を記念し、所長の林泰弘理工学術院教授（写真）をはじめ、副所長、トップレベルPI教授による講演・名刺交換会が実施された

産官学の連携で、現代の課題を解決する

大隈記念講堂では、日本のビジネスを牽引するリーダーたちが集まり、未来社会に向けたビジョンやアイデアを共有しました。オープニング後に行われた「NTT研究基調講演」では、早稲田大学出身である日本電信電話株式会社の川添雄彦氏（大学院理工学研究科修了）が、「限界打破のイノベーション」をテーマに、NTTグループが進めるIOWN構想を説明。通信基盤が大幅に変革されることで、ビジネスやライフスタイルが飛躍的にアップデートされること、同社が従来の方法を越えたゲームチェンジに挑んでいることが伝えられました。

カーボンニュートラル社会の実現に向け包括連携協定を締結する熊本県と早稲田大学は、共同企画・講演として「半導体産業の未来」を開催。半導体産業の需要拡大や、日本が抱える課題について共有されました。

本学のカーボンニュートラル社会研究教育センター（WCANS）設立1周年を記念した、教授陣による講演・名刺交換会では、多彩な領域で活躍する7名の研究者が活動内容を報告。文理の垣根を越えた連携、企業との共創の重要性が、事例とともに示されました。

Solving current issues through industry-government-academia collaboration

Leaders who are the driving force behind businesses in Japan gathered in the Okuma Auditorium and shared their visions and ideas for the future of society. In the “NTT Research Keynote Lecture” Mr. Katsuhiko Kawazoe of Nippon Telegraph and Telephone Corporation (Graduate School of Science and Engineering alumni) spoke on the theme of innovation that breaks through current limitations and explained the IOWN concept promoted by the NTT Group. He explained how a major change in communications infrastructure will dramatically change business and our lifestyles, and that the NTT Group is looking for a game-changer that goes beyond the traditional methods.

Waseda University and Kumamoto Prefecture, having previously signed a comprehensive cooperation agreement to realize a carbon neutral society, jointly planned and held a lecture on the future of the semiconductor industry. The participants shared knowledge on the growing demand in the semiconductor industry and on the challenges facing Japan.

An address by the teaching staff and a session to exchange business cards were also held at Waseda University to commemorate the first anniversary of the establishment of the Waseda Center for a Carbon Neutral Society (WCANS). The address introduced the activities of seven researchers from diverse fields of study. The importance of cooperation across the boundaries of science and the humanities and the importance of co-creation with companies were demonstrated with examples.



©2010kumamoto pref. kumamon

熊本県-早稲田大学共同企画・講演「半導体産業の未来」。熊本で発展する半導体産業の現状が共有された。会場には、くまモンも駆け付けた

学内の先端研究を集集し、社会への応用を目指す

リサーチイノベーションセンターでは、企業などとの連携に向けたマッチングや産学連携のさらなる推進を目的として、学内研究者や学生ベンチャー、協賛企業によるブース展示や、学内の研究室の最先端技術を紹介するラボツアーが行われました。

また、同センターの1階ギャラリーでは、ステージプログラムとして、WOI'23に協賛いただいた企業による講演会や、学生のビジネスアイデアから生まれた早稲田大学発の学生ベンチャーによるプレゼンテーションも行われました。

Gathering cutting-edge research at WOI with the aim of application in society

With the intention of further promoting industry-academia collaboration and creating partnerships with companies and others, Waseda University researchers, student ventures, and company sponsors displayed their exhibitions in booths set up at the Research Innovation Center. Lab tours were also held to introduce the cutting-edge technology of the university laboratories.

In addition, in the first-floor gallery at the Center, lectures were given by companies that contributed to WOI'23, and presentations were given by student ventures from Waseda University.

株式会社小松製作所（コマツ）のブース展示。コマツは早稲田大学との共同研究など産学連携の取り組みを強化させるため、2021年に「産学連携の推進に関する協定」を締結している



ブース展示には学生ベンチャーも参加。写真は短時間で効果的な口腔ケアを提供する「全自動歯ブラシ」を開発した株式会社Genics代表取締役の柴田源氏



合計60のブースが出展し、パネルや試作品を用いて研究内容を紹介した



WOI'23のイベントレポートは、ウェブサイトからご覧いただけます



早稲田の今が分かる ニュースアーカイブ2023

News Archive 2023

学生・教職員・卒業生による研究や文化・スポーツなど、2023年の主なニュースを紹介します。



1 講演を行う岸田文雄首相。これから社会に飛び出す在学生へエールを送りました 2 ウクライナから避難し、現在本学に留学中の学生から花束を贈呈 3 講演会後、早稲田大学歴史館を訪れ、G7広島サミットの写真パネルにサインをする岸田首相

NEWS
1

岸田文雄首相、大隈講堂で講演

Prime Minister Fumio Kishida gives lecture at Okuma Auditorium

2023年6月18日、岸田文雄内閣総理大臣(1982年法学部卒)が来校され、大隈記念講堂にて講演会が開催されました。総理大臣をお招きした講演会は、2012年6月の野田佳彦総理以来。当日は約4,000名の事前応募者の中から抽選で当選した学生・生徒および教職員・関係者約900名の前で、ご自身の学生時代のエピソードから、現在の日本や世界を取り巻く国際情勢の話題まで大変多岐にわたるお話をいただきました。

講演の後には、参加学生から「日中関係」「少子化対策」などについて、国会さながらの質問が寄せられ、一つずつ丁寧に回答。質疑応答が終わると、ウクライナから避難している留学生より花束が贈呈されました。最後は参加者全員で「早稲田大学校歌」を斉唱。首相は応援部主将のリードによる都の西北の演奏を背に、会場を後にされました。

On June 18, 2023, Prime Minister Fumio Kishida (School of Law 1982) visited the University and gave a lecture in the Okuma Auditorium. This was the first lecture here by a Prime Minister since June 2012, when Prime Minister Yoshihiko Noda was invited. Prime Minister Kishida talked about a wide variety of topics ranging from his own time as a student to the international affairs currently affecting Japan and the world.



NEWS
2

カーボンニュートラルへの取り組みが加速

Accelerating efforts to achieve carbon neutrality

早稲田大学は、深刻な地球温暖化を受け、早急にカーボンニュートラル化を実現するため、2021年11月に「Waseda Carbon Net Zero Challenge」を宣言、2022年12月にはカーボンニュートラル社会研究教育センター(WCANS)を設置し、CO₂排出量削減に貢献する最先

端の研究開発に力を入れています。並行して、創立150周年となる2032年をめどに、各キャンパスにおけるCO₂の排出量実質ゼロの実現も目指しています。2023年は、内閣府事業への採択や、地域自治体・企業との連携など、ますます取り組みが加速する1年となりました。

In order to achieve carbon neutrality as quickly as possible Waseda University announced the Carbon Net Zero Challenge Declaration in November 2021, and established WCANS in December 2022. We are also aiming to achieve net-zero CO₂ emissions across all campuses by 2032.

① 内閣府SIP事業第3期 全8件のうち3件の研究テーマが採択

Three research themes adopted for the third phase of SIP led by the Cabinet Office

2023年6月30日、内閣府事業「戦略的イノベーション創造プログラム(通称SIP)第3期課題「スマートエネルギーマネジメントシステムの構築」において、早稲田大学から研究開発責任者として3名が採択されました。

理工学術院 林泰弘教授(WCANS所長)が代表を務める「電力・交通データ連携型スマートEMSの社会実証と事業性検証」、齋藤潔教授が代表を務める「熱を含めたEMS構築とデジタルツインによる導入効果の見える化」、天野嘉春教授が代表を務める「脱炭素実現に向けたFEMS連携システムの創出と標準化」の3件について、企業や研究機関、大学など最適なパートナーを得て研究を推進していきます。

そして将来的には、エネルギーの種類・扱う場所・業態によらず、マネジメントできるシステムの構築を目指して、未来のエネルギーインフラ整備に貢献していきます。

② 熊本県と包括連携協定・薩摩川内市との連携協定締結

Comprehensive partnership agreements signed with Kumamoto Prefecture and Satsumasendai City

2023年4月17日、早稲田大学および熊本県は、「カーボンニュートラル社会実現に向けた包括連携協定」を締結しました。早稲田大学の北九州キャンパスを起点に、実証研究や、企業・自治体など地域のカーボンニュートラル推進の取り組みなどを通じて、早期の次世代まちづくりの実現を目指していきます。

また、本学、薩摩川内市、株式会社鹿児島銀行、株式会社ナカダイホールディングスおよび九州電力株式会社に結んだ大学間協定の事業主体となる新会社「サーキュラーパーク九州株式会社」と、薩摩川内市が立地協定を結びました。今後も理工学術院 所千晴教授(WCANS副所長)を中心として、さまざまな廃棄物の再資源化に取り組んでいきます。

③ 三菱電機・JX石油開発との連携

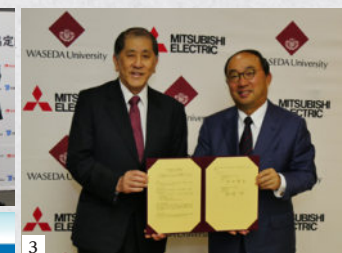
Join projects with Mitsubishi Electric and JX Nippon Oil & Gas Exploration

早稲田大学は2023年11月8日に三菱電機株式会社とサステナビリティ社会の実現を目指し、産学連携による研究・教育や人材交流の強化を図ることを目的として、包括連携協定を締結しました。社会課題である「カーボンニュートラル」、「ウェルビーイング」、「サーキュラーエコノミー」など5つの領域での共同研究を推進します。

またJX石油開発株式会社より、「CCSプロジェクトの安全性向上を目指した研究」(研究代表者:早稲田大学理工学術院 古井健二教授)を共同で推進することを目的として、早稲田大学理工学術院総合研究所に対して寄附研究を受け付けました。



©2010kumamoto pref. kumamon



1 (左から)ワセダベア、田中愛治早稲田大学総長と蒲島郁夫熊本県知事、くまモンの記念撮影の様子
2 サーキュラーパーク九州連携協定調印の様子
3 三菱電機の漆間啓執行役社長(右)と田中総長
4 二酸化炭素地中貯留にともなう微小振動の発生と漏洩およびその他ジオメカニクスに関わる諸問題

NEWS
3

キャンパスにあふれる笑顔と活気 「オープンキャンパス」、「ホームカミングデー／稲門祭」開催

*Campuses filled with smiles and energy:
"Open Campus" and "Homecoming Day & Tomonsai" events held*

2023年8月5日、6日、早稲田大学の早稲田・戸山・西早稲田・TWInsの4会場にて「オープンキャンパス2023」を開催しました。今年度のオープンキャンパスは、2019年8月以来4年ぶりに人数制限を設けないコロナ禍以前の形式で開催しました。早稲田・戸山・西早稲田の各キャンパスには2日間で過去最多の延べ約6万5,000人の高校生・保護者の皆さまにご来校いただきました。

また、10月22日には「第58回 ホームカミングデー」と「稲門祭」を開催、合わせて1万4,000人の卒業生の皆さまやそのご家族が早稲田・戸山の各キャンパスに集いました。記念式典では田中愛治早稲田大学総長からコロナ禍中に『後輩のため』として寄せられた多大なるご支援について御礼の言葉が述べられ、数年来実現できなかった校歌斉唱も再開。「都の西北…」の歌声が会場に響き渡りました。

On August 5 and 6, 2023, "Open Campus 2023" was held at the Waseda Campus, Toyama Campus, Nishiwaseda Campus, and TWIns. For the first time in four years, this year's Open Campus was held without restrictions on the number of people. A record high total of 65,000 high school students and their parents visited over the two days.



■ オープンキャンパスでは、個別相談会や体験型の模擬講義など、早稲田大学での学生生活を感じられるプログラムが多数実施されました



2 3 年次・地域・職域などさまざまな稲門会や在学生が企画した出店やイベントで大いに盛り上がる稲門祭

NEWS
4

西原元総長お別れの会を執り行いました

Former President Nishihara's memorial gathering held

2023年5月2日、早稲田大学第12代総長・西原春夫先生(2023年1月26日逝去、享年94歳)のお別れの会が、大隈記念講堂にてしめやかに執り行われました。ご遺族の方々、多くの来賓・参列者とともに西原先生をしのび、黙祷が捧げられた後、田中愛治早稲田大学総長が追悼の辞を述べ、学校法人国士館の大澤英雄理事長、高橋則夫早稲田大学名誉教授からも追悼のお言葉をいただきました。ご遺族代表からの挨拶、「早稲田の栄光」の献奏、参列者全員による「早稲田大学校歌」の斉唱の後、献花が行われ、閉会となりました。

On May 2, 2023, a solemn memorial gathering was held in the Okuma Auditorium for the 12th president of Waseda University, Professor Haruo Nishihara (who passed away on January 26, 2023 at the age of 94). The bereaved family, guests, and attendees participated in a moment of silence honoring the memory of Professor Nishihara. Afterwards, Waseda University President Aiji Tanaka delivered a memorial address.



西原先生は、早稲田大学創立100周年記念事業の推進、総合学術情報センターや人間科学部の創設などの実現に向けて尽力されました

NEWS
5

西早稲田キャンパス再整備 52・53・54号館建て替え

Redevelopment of Nishiwaseda Campus: Reconstructing buildings 52, 53, and 54

2032年に早大創立150年、2033年に理工創設125年を迎えるにあたり、西早稲田キャンパスの52・53・54号館建て替え工事を行います。これに伴い、本格的な着工に向けて、2023年9月18日に起工式を開催しました。

今回の工事では、日本建築学会賞を受賞している既存の52号館を生きた教材：ヘリテイジとして継承するため完全に保存し、これを跨ぐように新52号館を建

設予定。52・53・54号館の延床面積が約3倍に増床(約9,000㎡⇒約27,000㎡)し、施設の狭隘化解消と研究教育環境の改善を図ることを目的としています。同時に、地域の緑と連続性のある景観を形成しつつ、利用者である学生や研究者、また地域の方々にとっての、集いの場としての空間の確保も両立するランドスケープデザインを採用しています。

Buildings 52, 53 and 54 of the Nishiwaseda Campus will be rebuilt to mark the 150th anniversary of the founding of Waseda University in 2032, and the 125th anniversary of the establishment of the Science and Engineering Department in 2033. In connection with this, a groundbreaking ceremony was held on September 18, 2023 commencing the start of construction.



1 既存の52号館上部4階に設けられるラーニングコモンズイメージ
2 キャンパス中庭完成予想パース：パース中央が新52号館(下層が保存する現52号館)、左手前に向かって新53号館、新54号館

NEWS
6

毎日の歩数と死亡リスクとの量反応関係を解明

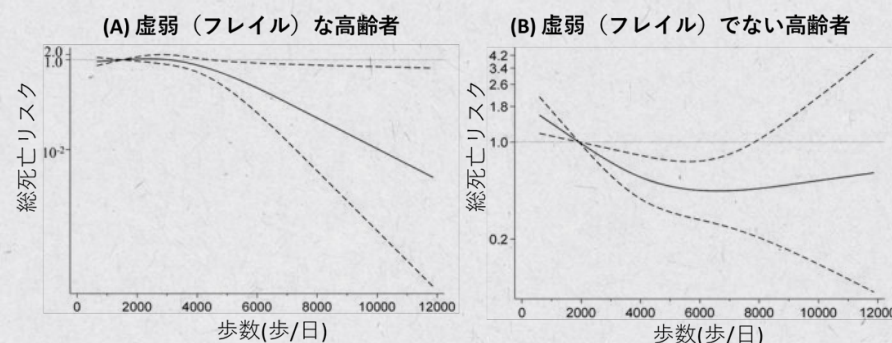
Researchers explain relationship between number of steps walked every day and mortality risk

早稲田大学スポーツ科学学術院の渡邊大輝助教と宮地元彦教授は、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所、公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所、京都先端科学大学の研究者と共同し、高齢者のフレイルの有無によって、死亡リスクを減らすための1日あたりの最適な歩数が異なることを、世界で初めて報告しました。

研究では、1日あたり約5,000~7,000

歩で死亡リスクへの有益な効果が頭打ちになること、1日あたりの歩数が5,000歩未満の者が歩数を1,000歩増やすことで死亡リスクが23%低下するが(9~10カ月の寿命延長に相当する)、5,000歩以上の者が歩数を増やしても有益な効果は見られなかったこと、フレイルに該当する高齢者では1日あたりの歩数が約5,000歩を超えると死亡リスクと負の関連を示すことが報告されました。

Assistant Professor Daiki Watanabe and Professor Motohiko Miyachi of Waseda University Faculty of Sport Sciences found in their study that while nonfrail individuals' mortality plateaued at 5,000-7,000 steps per day, the results for frail individuals differed. This study reports, for the first time, that the optimal number of daily steps for older people is different between frail and non-frail individuals.

NEWS
7

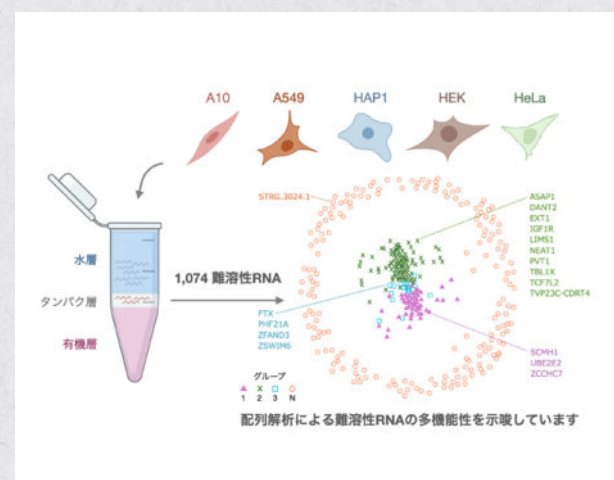
5種類のヒト培養細胞から
新たな1,074種類の難溶性RNAを同定

Researchers identify 1,074 semi-extractable RNAs across 5 human cell lines

早稲田大学理工学術院総合研究所の曽超次席研究員、同大理工学術院の浜田道昭教授らの研究グループは、5種類のヒト培養細胞の独自の実験データを、新規に構築した情報解析パイプラインで解析し、細胞内の非膜構造体形成に関与している可能性がある1,074種類の「抽出しにくいRNA(難溶性RNA)」を同定し、それらの特徴を明らかにしました。

タンパク質やRNAによる相分離は、疾患などのさまざまな生命現象に関与しており、今回の成果が、がんの発生や進行、ウイルスのRNAの分解、細胞のストレス反応などの研究において基盤的なリソースとなることが期待されています。

A research group, including Junior Researcher Chao Zeng, Professor Michiaki Hamada of the Waseda University Faculty of Science and Engineering and others, used a newly constructed information analysis pipeline to analyze original experimental data from five types of cultured human cells.



配列解析による難溶性RNAの様子

NEWS
8

英会話能力判定システムLANGX Speakingを
早大正規授業科目Tutorial Englishに正式採用

Waseda formally adopts LANGX Speaking system to assess English speaking ability in Tutorial English courses

早稲田大学では、早大アントレプレナーシップセンターが支援する研究開発型スタートアップ企業の株式会社エキュメノポリスが開発した会話AI(人工知能)を使った英会話能力判定システムLANGX Speakingを、早大グローバルエデュケーションセンター英語科目Tutorial Englishの英語能力判定テスト

として、2023年度から導入しました。

LANGX Speakingは、本科目での導入を皮切りに、今後他大学、小中高校、英会話スクールなどへの導入が見込まれており、早大発の言語AI技術が、教育DX化を推進し、学習者の学びの効率化をもたらすことが期待されています。

In the 2023 academic year, the LANGX Speaking system for assessing English conversational ability was introduced by Waseda University as an English language proficiency assessment test for the English language course “Tutorial English” of the Waseda University Global Education Center.

NEWS
9

早稲田大学と慶應義塾大学が合同で
博士キャリアデザインカンファレンスを開催

Waseda and Keio hold doctoral career design conference

2022年11月25日、121号館コマツ100周年記念ホールにて、「早慶合同博士キャリアデザインカンファレンス～博士積極採用企業と語ろう！～」を開催しました。博士の採用に前向きな企業・研究機関と、博士人材の出会い・交流を促す本イベントは、早稲田大学・慶應義塾大学の博士学生・ポスドクを中心に、博士

課程進学を考えている学部生・修士生を含む幅広い学生が対象です。企業側からは18社が会場を訪れ、学生71名が参加。企業・研究機関のプレゼンテーションや、学生の研究内容をまとめたポスター発表、企業と博士学生の交流会などを通じて、活発なコミュニケーションが生まれる場となりました。

On November 25, 2022, the "Waseda/Keio Joint PhD Career Event 2022" was held in the Komatsu Memorial Hall in building No.121. This event encourages meetings and exchanges between PhD students and companies or research institutes that are actively seeking to employ them.

NEWS
10

理工学術院・鷺崎教授が
IEEE Computer Society会長に選出

IEEE Computer Society elects Waseda University Faculty of Science and Engineering Professor Washizaki as President

早稲田大学理工学術院基幹理工学部情報理工学科の鷺崎弘宣教授が、世界最高峰の計算機学会であるIEEE Computer Society(Institute of Electrical and Electronics Engineers, Computer Society)の2025年会長に選出されました。IEEE(「アイ・トリプル・イー」:本部は米国ニューヨーク)は、世界160カ国

以上に会員を擁する世界最大の非営利学術団体であり、Computer SocietyはIEEE内に設置されている39のテクニカルソサエティの内の最大のソサエティで、世界的に最も影響力のある学術組織です。

本学からの会長就任は、理工学術院基幹理工学部情報理工学科の笠原博徳教授に続き2人目となります。

Professor Hironori Washizaki, of the Department of Computer Science and Engineering at the Waseda University, has been elected the 2025 President of the IEEE Computer Society (Institute of Electrical and Electronics Engineers, Computer Society), the premier technical professional organization.

NEWS
11

早大の知を生かしたスタートアップ創成の推進

Using Waseda University knowledge to promote startup creation

早稲田大学は、社会の課題解決と新たなイノベーションを創出するスタートアップの創成を、アントレプレナーシップ(起業家精神)教育と起業支援の体系的な方策の下で進めています。

アントレプレナーシップセンターでは、地球規模の視点でビジネスを創造し、地球市民一人ひとりの幸せの実現に貢献できる人材の育成を掲げ、学生に対してさまざまなアントレ教育プログラムを提供しています。また、早大発の研究成果を

対象に、その事業化を進める研究チームの仮説検証(Proof of Concept)などを支援する早稲田PoC Fundプログラムなどを実施。同プログラムから、すでに6社のスタートアップが生まれています。

2022年12月には、センターの一部を改修し、出会いと討論を促進するコワーキングスペース「WASEDA Startup Lounge」としてオープン。スタートアップ創出を加速させるための環境面の整備も行いました。

Waseda University is using a systematic approach of entrepreneurship education and entrepreneur support to promote the creation of innovative startups that will solve social problems. The Center for Entrepreneurship supports students through many different programs that help develop skilled people who create businesses with a global perspective and contribute to the happiness of the citizens of the world.

① Nanofiber Quantum Technologies社が米国VCから大型資金調達を実現

Nanofiber Quantum Technologies achieves large-scale fund procurement from US VC

「早稲田PoC Fundプログラム」採択課題である、「ナノ光ファイバー共振器量子電気力学系による分散型量子コンピュータ」プロジェクト(研究代表:理工学術院 青木隆朗教授)から設立されたスタートアップ企業、株式会社Nanofiber Quantum Technologiesが、2023年9月に米国シリコンバレーで活動しているPhoenix Venture Partners、および日本のジャフコグループ株式会社、スパークス・グループ株式会社、株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ、そして早稲田大学ベンチャーズ株式会社がそれぞれ運用するファンドから総額850万米ドル(約12.5億円(9月15日時点レートに基づく))の資金調達を完了しました。

② 国内最大規模の技術シーズ社会実装プログラム「1stRound」に早稲田大学が参画

Waseda University joins "1stRound," Japan's largest social implementation program for technology seeds

早稲田大学は、東京大学協創プラットフォーム(東大IPC)が実施する国内最大規模を誇る起業支援プログラム「1stRound」に2023年3月から参画し、本学から生まれるさまざまな技術シーズを社会実装へ結びつけるための起業化に特化した新たな支援を開始しました。

③ 中辻新さんが「Forbes Japan 30 UNDER 30」に選出

Arata Nakatsuji selected for "Forbes Japan 30 UNDER 30"

「Forbes Japan」が世界を変革する30歳未満のイノベーターやディストラクターを表彰する「Forbes Japan 30 UNDER 30」で、2023年度表彰者120名の中の一員として、好きなものを通じて自分を表現できるSNSを提供するスタートアップ「artics」をけん引する中辻新さん(政治経済学部4年)が「BUSINESS & FINANCE & IMPACT」部門で選出されました。

NEWS
12

早大スマートエスイーが事後評価にて最高位Sを獲得

Waseda University's Smart SE earns highest S rank in post-evaluation

文部科学省リカレント教育プログラム「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT) enPiT-Pro」において、早大が代表として実施した「スマートエスイー:スマートシステム&サービス技術の産学連携イノベティブ人材育成」が、事後評価にて最高位となる「S評価」を受けました。

As part of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science, and Technology's "enPiT-Pro" project, Waseda University was chosen as a representative for the "Smart Systems and Services Innovative Professional Education (Smart SE) program" and earned an "S rank", which is the highest possible.

NEWS
13

寄付チェア制度による研究力の向上と人材育成の強化

Endowed chair program improves research capabilities and strengthens human resource development

寄付チェア制度は、学外から新たに受け入れた寄付金により基金を設置し、その運用果実を原資として専任教員(または任期付教員(助教を除く))を雇用する制度です。定年までの永続雇用が可能となる本制度は、国内の大学では初めての試みで、2022年11月に新設されました。

本制度の導入は、早稲田大学が卓越し

た研究大学を目指す上での革新的な取り組みの一つとなります。「寄付チェア教員」を配置し、この教員が中心となって最先端研究を推進することで、日本、さらには世界に貢献する技術開発成果の創出・研究力の向上、また中核人材の育成の強化を目指します。

Waseda University employs faculty (tenure and non-tenure) through the "Endowed chair program." These faculty play a leading role in the promotion of cutting-edge research at our university. We aim to develop technology that contributes to Japan and the world, to improve research capabilities, and to strengthen the development of core human resources.

① JX金属株式会社

2023年1月24日、早稲田大学とJX金属株式会社は、「カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミー、とりわけサステナブルカップパー・ビジョンに資する寄付チェア設置の契約」を締結しました。

② 康師傅グループ

早稲田大学の教育研究事業に対してご支援をいただいている康師傅グループの魏宏名会長に対し、感謝を表し「早稲田大学名誉校董」を授与しました。またカーボンニュートラル社会の実現を目指して「カーボンニュートラルに資する寄付チェア設置の契約」を締結しました。

③ タカハタプレジジョン

2023年7月21日、早稲田大学とタカハタプレジジョン株式会社は、「カーボンニュートラル、とりわけ有機エレクトロニクスに資する寄付チェア設置の契約」を締結しました。

■ 左からJX金属の村山誠一代表取締役社長、田中愛治早稲田大学総長 ② 寄付チェア契約書に署名する魏宏名会長(左)と田中総長(右) ③ 左から田中総長、タカハタプレジジョンの山本康雄代表取締役社長



NEWS
14

歴史館の特別展に注目集まる

Special exhibitions attract attention at the History Museum

早稲田大学歴史館では、杉原千畝が晩年に書き残した手記2点を新たに収蔵したことを記念し、2023年6月から7月にかけて直筆手記を特別公開しました。展覧会では手記の現物展示に加えて、「命のビザ」の受給者が記載された「杉原リスト」(外務省外交史料館所蔵)や関連年表、映像なども併せて展示しました。

また同年7月から10月にかけては、1950年から50年余りの間、早稲田のマスコットとして、早慶戦などで多用され、人気を博した「フクちゃん」に関する特別展を開催しました。早慶戦の応援に欠かせなかった「フクちゃん」の活躍ぶりを関連資料や写真を交えて紹介するとともに、早稲田大学応援部の80年余の歩みをたどりました。

In commemoration of the two memoirs Chiune Sugihara created in his later years, the Waseda University History Museum hosted a special exhibit between June and July 2023. In addition, from July to October, 2023, a special exhibition was held on the highly popular "Fukuchan," which was frequently used as the Waseda mascot at Waseda-Keio games and elsewhere since 1950 for over 50 years.

❶ 1918年に早稲田大学に入学した杉原千畝 ❷ フクちゃんは、漫画家・横山隆一が新聞に連載した4コマ漫画「フクちゃん」の主人公。彼の学帽が早稲田大学の角帽に似ていたことから早稲田のマスコットとして親しまれてきた

NEWS
15

本庄早稲田の杜ミュージアム 来館者5万人達成

Honjo-Waseda no Mori Museum reaches 50,000 visitors

2023年9月10日、本庄早稲田の杜ミュージアムの来館者が5万人を突破しました。2020年に開館した本庄早稲田の杜ミュージアムでは、本庄児玉地域の人々の歩みを物語る多くの文化財を最新の研究成果とともに展示しています。

記念すべき5万人目の来館者は、上里町からお越しの大城馨さんとお母様でした。5万人達成の記念に、本庄市の吉田信解市長と下野戸陽子教育長からははにぼんのぬいぐるみ、ミュージアムグッズ、早稲田大学グッズが贈られました。

本庄早稲田の杜ミュージアムは、ワークショップや映像資料も活用し、地域の歴史と文化の魅力を発見する場所となるように尽力していきます。

On September 10, 2023, the Honjo-Waseda no Mori Museum reached 50,000 visitors since its opening. The museum was opened in 2020 and exhibits a large number of cultural properties that tell the story of the people of the Honjo Kodama area, and also the latest research from Waseda University. The Honjo-Waseda no Mori Museum will also utilize workshops and video materials as it works to be a place where visitors discover the fascinating history and culture of the region.



左から本庄市マスコット「はにぼん」、吉田市長、大城馨さん、下野戸教育長

NEWS
16

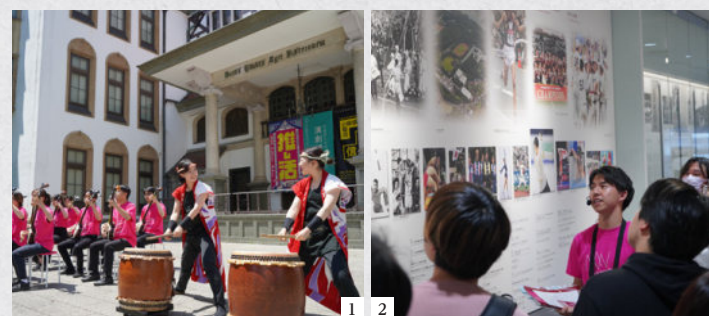
「Museum Week&早稲田文化芸術週間」を開催

"Museum Week" and "Waseda University Culture & Art Week" held

2023年5月15日から26日にかけて、Museum Weekを開催しました。スタンブラリーやギャラリートークなど、早稲田大学のミュージアムの魅力を知ってもらうためのさまざまなイベントを実施。期間中、各ミュージアムを毎日開館し、たくさんの方にご来場いただきました。

また2023年10月9日から20日にかけては、早稲田の多種多様な文化・芸術を発信する早稲田文化芸術週間を開催。早稲田大学の各サークルによるステージパフォーマンスやプレゼント企画で、大盛況のうちに幕を閉じました。

Museum Week was held from May 15 to 26, 2023. Various events were hosted to communicate the charm of the Waseda University museums, including a stamp rally and gallery talks. During this period, each museum was open every day and they received a large number of visitors.



❶ 演劇博物館前で開催したミュージアムコンサート ❷ 早稲田スポーツミュージアムで行ったミュージアムツアー ❸ 會津八一記念博物館前で開催したMuseum LIVE

NEWS
17

「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」贈呈式

Presentation ceremony held for "Waseda Journalism Award in Memory of Ishibashi Tanzan"

2023年12月7日、第23回「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」の贈呈式が行われました。

【授賞作品】

公共奉仕部門 大賞：NHK「精神医療問題」取材班代表 青山 浩平氏
『ルポ 死亡退院 ～精神医療・闇の実態～』(NHK ETV特集)
公共奉仕部門 大賞：琉球朝日放送 島袋 夏子氏、フリージャーナリスト
ジョン・ミッチェル氏『命ぬ水 ～映し出された沖縄の50年～』(琉球朝日放送)
草の根民主主義部門 大賞：鈴木 エイト氏
『自民党の統一教会汚染 追跡3000日』(小学館)
公共奉仕部門 奨励賞：『失われた事件記録』取材班代表 霍見 真一郎氏
『神戸連続児童殺傷事件の全記録廃棄スクープと一連の報道』(神戸新聞、
電子版「神戸新聞NEXT」)
公共奉仕部門 奨励賞：『新型コロナワクチン取材班代表 有本 整氏
『新型コロナワクチンの副反応に関する調査報道』(CBCテレビ)
草の根民主主義部門 奨励賞：萩原 豊氏
『「南米アマゾン」の「水俣病」に関する報道』(TBSテレビ・Web)



贈呈式に出席した田中愛治総長(左から4人目)と受賞者7名。贈呈式では賞状と記念のメダルが贈られ、各受賞者からのスピーチも行われた

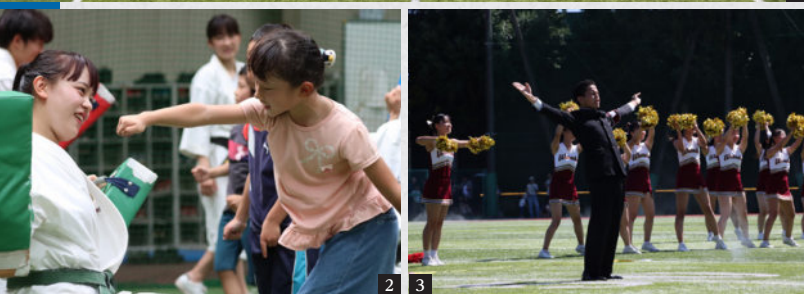
NEWS
18

早稲田スポーツフェスタを4年ぶりに開催

Waseda Sports Festa held for the first time in four years



1



2 3

1 全面開放された東伏見キャンパスのアメフト場で開催されたスポーツフェスタ 2 体育各部部員と体を動かす子どもたち 3 スポーツフェスタ恒例のスペシャルステージの様子 (2・3は早稲田スポーツ新聞会提供)

2023年9月18日、コロナ禍や台風の影響で中止が続いていた、「早稲田スポーツフェスタin東伏見」が4年ぶりに開催されました。同イベントは、日頃お世話になっている東伏見キャンパス周辺の方々や、早稲田スポーツファンの皆様に感謝の気持ちを表すことを目的としています。

熱中症対策と感染症対策の下、当日参加可能なフリープログラムと事前抽選制のプログラム、計37の企画を用意。それぞれの企画は、準備から運営まで体育各部の部員が担当しました。当日は残暑が厳しい中、約4,500人も参加者たちが集い、待望のイベント再開を喜びました。

The "Waseda Sports Festa in Higashi-Fushimi" was cancelled multiple times due to the COVID-19 pandemic and typhoons, but on September 18, 2023, it was held for the first time in four years. The purpose of this event is to express our gratitude to the people around the Higashifushimi Campus, who help us on a daily basis, and to the fans of Waseda sports.

NEWS
194年ぶり高田馬場から新入部員パレード
早稲田の街と交流深める

Parade of new student club members deepens interaction between Waseda and the neighborhood

2023年5月20日、体育各部の入部式を挙行した後、高田馬場駅近辺から早稲田キャンパスまで新入部員パレード(新入パレード)を実施しました。

昨年は3年ぶりに早稲田キャンパス周辺を行進する形で復活しましたが、高田馬場駅周辺からパレードを行うのは4年ぶり。体操部の芦垣舞体育各部実行委員長(教育学部4年)とともに、応援部代表委員、校旗、吹奏楽団がパレードを先導。足を止めて手を振る沿道の人々に笑顔で

応えながら、新入部員はおよそ90分間にわたり行進を行いました。

パレード終了後は大隈記念講堂に移動し、宣誓式を挙行。石井昌幸競技スポーツセンター所長を前に、体操部の田村優さんと剣道部の森島百咲さん(ともにスポーツ科学部1年)が代表して宣誓し、今後4年間の飛躍を誓いました。宣誓式終了後は親睦会を開催し、新入部員同士で親交を深めました。(早稲田スポーツ新聞会掲載記事をもとに再構成)

On May 20, 2023, after the induction ceremony for each athletic club, a parade of new members (rookie parade) was held between Takadanobaba Station and Waseda Campus. This parade was revived last year for the first time in three years, but the format was a procession in the area around the Waseda campus only. This year was the first time in four years that the parade was held around Takadanobaba Station as well.

NEWS
20

ゴルフ部・中野麟太郎がアマ日本一部男子選手初の快挙

Rintaro Nakano becomes top amateur golfer in Japan, a first for a male member of Waseda's Golf Team

2023年6月30日に最終日を迎えた、ゴルフのアマチュア日本一を決める2023年度日本アマチュアゴルフ選手権競技。首位でスタートしたゴルフ部の中野麟太郎選手(スポーツ科学部2年)がプレーオフを制し、初優勝を決めました。ゴルフ部男子選手としては初の快挙です。

最終18番ホールでティーショットを左の林に打ち込んでしまい、最終ラウンド終了後、トータルアンダー15で鶴瀬璃久選手(帝京大4年)に並ばれてしまった中野選手。しかしプレーオフでは「1年前からこれを目標にして戦ってきたことが実を結んだ」というスーパーショットで2オンとし、バーディーパットを着実に決めて優勝しました。

The 2023 Japan Amateur Golf Championship, which finished on June 30, 2023, decided the best amateur golfer in Japan. Rintaro Nakano of Waseda's Golf Team (a second-year student in the School of Sport Sciences), won the championship for the first time. This is the first time for a male member of the golf team to achieve the top position. He said this was achieved thanks to his hard work over the past year working towards this goal.



優勝カップを受け取る中野麟太郎選手(右)

NEWS
21

ア式蹴球部・Jリーグ、WEリーグ、なでしこリーグ、加入内定選手の記者会見を開催

Waseda University Association Football Club holds press conference for players with informal offers from J.League/WE League/Nadeshiko League

2023年12月5日、2024シーズンにJリーグ、WEリーグ、なでしこリーグへの加入が内定した早稲田大学ア式蹴球部男子・女子合同の記者会見が行われました。

男子 Jリーグ加入内定者

植村 洋斗(ジュビロ磐田)

小倉 陽太(横浜FC)

森 璃太(アルビレックス新潟)

小松 寛太(いわてグルージャ盛岡)

女子 WEリーグ加入内定者

後藤 若葉(三菱重工浦和レッズレディース)

笠原 綺乃(サンフレッチェ広島レジーナ)

女子 なでしこリーグ加入内定者

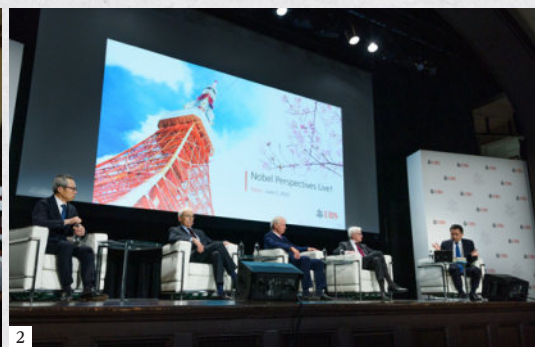
浦部 美月(オルカ鴨川FC)

夏目 歩実(朝日インテック・ラブリッジ名古屋)

(2023年12月5日時点の加入内定者)



記者会見で内定を発表した8名の選手



1 「Nobel Perspectives Live!」恒例の全体写真
2 左から中村善二UBS在日代表、Sir Christopher A. Pissarides氏、Michael Spence氏、Bengt Holmström氏、若田部昌澄教授

NEWS
22

「Nobel Perspectives Live!」を開催

“Nobel Perspectives Live!” held

2023年6月5日、世界の主要な市場で事業を展開するグローバル金融機関UBSとの共催により、3人のノーベル経済学賞受賞者(Bengt Holmström氏、Michael Spence氏、Sir Christopher A. Pissarides氏)をお招きしたシンポジウム「Nobel Perspectives Live!」を大隈記念講堂にて開催しました。

同シンポジウムは、共催機関であるUBSが各都市にて定期開催している

「Nobel Perspectives Live!」シリーズの日本講演として位置づけられており、早稲田大学は国内大学における唯一の実施機関となりました。

当日は田中愛治総長をはじめとする早稲田大学役職者とゲストの懇談を行い、AIや自動化技術の進歩による現代社会への影響、日本や世界が直面するさまざまな経済課題、次世代を担う若者に期待することなどが話し合われました。

On June 5, 2023, a symposium entitled "Nobel Perspectives Live!" was held with three Nobel laureates in economics (Bengt Holmström, Michael Spence and Sir Christopher A. Pissarides). The symposium was held at the Okuma Auditorium in cooperation with UBS, which is a global financial institution that operates in major markets around the world.

NEWS
23

Citiグループ副会長による特別講義

Citigroup Vice Chairman gives special lecture

2023年4月27日、米国シティグループのジェイ・コリンズ氏を招き、気候変動問題についての特別講義を開催しました。コリンズ氏は早稲田大学の米国協定校であるGLCA/ACMのJapan Studyプログラムを通じて、1983年から1年間早稲田大学に留学。今回の特別講義は、コリンズ氏から田中愛治総長宛てに、「第二の母校である早稲田大学で学生たちにメッセージを伝えたい」とご提案いただ

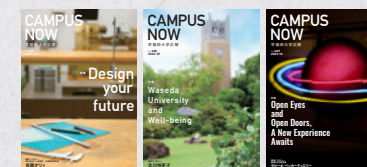
いたことで実現しました。

講義の冒頭、コリンズ氏は自身の早稲田大学留学について紹介し、この経験がその後の人生とキャリアに与えた大きな影響、日本と自分の結びつきなどについて語りました。その後、自身が関わる国連気候変動枠組条約締約国会議の動向を中心に講義を展開。当日は各学部から100名以上の学生が参加し、講義後の質疑応答は1時間余りにも及びました。

On April 27, 2023, Jay Collins of Citigroup in the US was invited to give a special lecture on climate change. Collins studied at Waseda University for one year from 1983 through the Japan Study program of the GLCA/ACM. This special lecture was realized when Mr. Collins made a proposal to President Aiji Tanaka that he would like to convey a message to students at his second alma mater, Waseda University.

早稲田のことがもっと分かる！ 冊子&SNS

主には学部生保護者向け
『CAMPUS NOW』



2023年4月号 2023年7月号 2023年10月号

年4回発行し、「Design your future」「Well-being」「世界での学び」などさまざまな特集で、学生・卒業生・教員へのインタビューをまとめた一冊です。主には学部生保護者の方のご自宅にお届けしています。

CAMPUS NOW
For students' parents/guardians

The quarterly magazine CAMPUS NOW features interviews with students, alumni and faculty on topics such as "Design your future," "Well-being" and "Learning in the world." It is primarily delivered to the homes of undergraduate students' parents/guardians.

卒業生向け
『早稲田学報』



隔月発行の校友会コミュニケーション誌。さまざまな業界・分野で活躍する多彩な卒業生や校友会の活動などが分かる一冊です。校友会費をご納入の方と定期購読をお申し込みの方のご自宅にお届けしています。

Waseda Gakuho
For alumni

The Alumni Association publishes this bi-monthly magazine. Waseda Gakuho shares activities by the Alumni Association and introduces alumni in various industries and sectors. It is delivered to the homes of dues-paying members of the Alumni Association and to other subscribers.

早稲田大学公式アカウントより
最新情報を発信



公式Facebook
<https://www.facebook.com/WasedaU/>



公式YouTube
<https://www.youtube.com/user/wasedaPR/featured>



公式Instagram
https://instagram.com/waseda_university

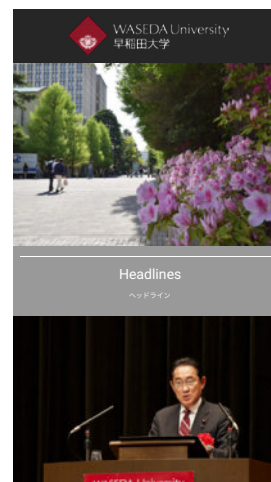


公式X
https://twitter.com/waseda_univ



公式LinkedIn
<https://www.linkedin.com/school/wasedauniversity/>

最新のニュースは、早稲田大学公式ウェブサイトで！



日本語版(Japanese Version)
<https://www.waseda.jp/top/>
本誌で紹介したニュースは、早稲田大学公式ウェブサイトでご覧いただけます。



英語版(English Version)
<https://www.waseda.jp/top/en/>

読者ウェブアンケート

皆様のご意見を反映し、よりよい誌面にしていくためにアンケートにご協力ください。申請フォームはこちらの二次元バーコードよりお願いします。



67万人の卒業生組織 / 早稲田大学校友会

早稲田大学校友会は、約67万人の卒業生(校友)によって構成される同窓会組織です。早稲田大学を卒業された皆さまは全員が正会員となり、早稲田大学の校友となります。1885(明治18)年に発足して以来、日本全国・世界各地に組織を広げて活動してきました。主な活動内容は、奨学金をはじめとした母校支援、イベントの開催や同窓会活動のサポートを通じた会員同士の親睦支援です。世代を超えて楽しめる「稲門祭」や、卒業年次ごとの集いなど各種イベントも開催しています。ぜひご参加ください。

母校に帰る祭典

ホームカミングデー

稲 門祭と同日、卒業後15年、25年、35年、45年、50年目を迎える校友を大学にお招きし、日頃のご支援に感謝の意を表すとともに、大学の近況などについて報告する式典「ホームカミングデー」を開催しています。総長による式辞や招待年次代表者のあいさつ、校歌斉唱などで、大学時代を振り返っていただきます。



校友向けコミュニケーション誌

早稲田学報

18 97(明治30)年の創刊以来、通巻1263号を迎える『早稲田学報』。校友のコミュニケーション誌として、年6回、毎奇数月15日に早稲田大学校友会が発行し、校友会費をご納入いただいている方と定期購読をお申し込みの方のご自宅にお届けしています。大学の情報や校友の活躍、在学生の様子など早稲田魂を揺さぶる話題が満載です。



[海外在住の校友の皆さまへのご案内]

早稲田大学校友会では、海外在住の皆さまに確実に「早稲田学報」をお届けするために、「早稲田学報」電子書籍版サービスを開始いたしました。校友会に「海外住所」と「メールアドレス」が登録されている校友会費ご納入者さまへ、「早稲田学報」発行ごとに電子書籍版をご覧いただくためのユーザー名・IDとパスワードをメール配信いたします。

なお「早稲田学報」電子書籍版サービスを開始するにあたり、2021年6月号より、海外在住の方への「早稲田学報」発送を停止させていただくことになりました。電子書籍版の継続運用のためであることを踏まえ、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

住所／電話番号／進路(勤務先・進学先)にご変更があった際のお願い



早稲田大学校友会ウェブサイトの「手続きする」→「登録・変更の手続き」をご確認の上、ご変更いただきますようお願いいたします(右上の二次元バーコードからもアクセスできます)。

- ・日本国内からは「西北の風&CAMPUS NOW」同梱の宛名台紙に付いている「住所変更届」はがきもご利用いただけます。
- ・昨年も「西北の風&CAMPUS NOW」が届いていて特に変更がない場合は、はがきを返送していただく必要はございません。
- ・情報提供可否欄のご記入をお願いいたします。
- ・ご実家等に届いている場合、お手数ですがご本人さまにご転送の上、住所変更等の手続きをおすすめください。

個人情報の取り扱い

早稲田大学校友会員(卒業生等)の氏名・住所・電話番号・学歴・職歴等の個人情報は、早稲田大学総長室校友課／早稲田大学校友会事務局にて管理しております。これらの個人情報は細心の注意を払って取り扱われるべきものと考え、その収集・保存・利用については厳重な管理の下に、早稲田大学が定める「個人情報の保護に関する規則」および「早稲田大学セキュリティポリシー」に準じて運用しています。(詳細 <https://www.wasedaalumni.jp/info/security.html>) 早稲田大学の卒業生(校友)の個人情報は、卒業時点の学籍情報をもとに登録し、原則として第三者には公開をしておりません。なお、公開にあたっては本人の承諾を前提とし、無断で個人情報を収集したり、個人を特定できる情報を開示することはありません。

早稲田大学校友の個人情報の利用内容

早稲田大学校友会における個人情報の主な利用内容は、以下のとおりです。

- ①早稲田大学および早稲田大学校友会の業務で必要とする場合
例: 大学・校友会からのご案内、「早稲田学報」、ホームカミングデーご案内状などの送付
- ②稲門会活動の促進支援で利用する場合
例: 登録稲門会のうち早稲田大学校友会が特に必要と認める校友会都道府県支部・稲門会への提供
- ③校友向けサービス実施・向上・改善に必要となる場合
例: 「校友会支部・稲門会検索」
- ④契約により守秘義務のある業務委託先に対し、必要な業務を委託する場合
- ⑤本人の同意を得た上で個人情報を開示または利用する場合
※ただし、犯罪捜査のため法律(刑事訴訟法等)に基づく正規の手続きを経て、司法警察機関(警察署、裁判所等)からの捜査協力要請や裁判所の発する令状等による情報開示命令があった場合、必要な限度において当該機関に開示することがあります。

稲門祭

校友会最大のイベント

毎 年秋、早稲田キャンパスで行われる「稲門祭」は、約1万4,000人が来場する校友会最大のイベント。著名校友のトークセッションや音楽イベント、模擬店、福引抽選会など、多彩な企画をお楽しみいただけます。どなたでも参加可能ですので、ご家族・ご友人の皆さまとご来場ください。



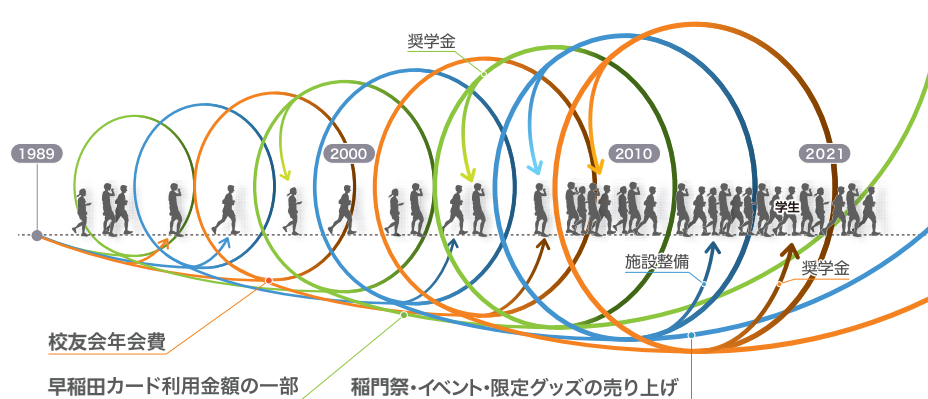
未来の世代を支える母校支援 校友会の奨学金システム

30年以上継続している循環型デザイン

早 稲田大学校友会では、継続的に多くの奨学生を支援しています。毎年2億円以上を「返還不要の奨学金」として約1,400人に給付しているほか、施設整備なども実施しています。その原資は、会員の皆さまにご納入いただく年間5,000円の校友会費、クレジットカード「早稲田カード」をご利用いただいた金額に応じて

カード会社から大学へ還元される手数料の一部、稲門祭などのイベント・校友会限定グッズの売り上げです。

1989年、本学は大学では初めてクレジットカードを導入し、パイオニアとして奨学金プログラムを設計。以来、先輩の支援を受けた後輩が、卒業後に自らが先輩として



後輩を支援する連鎖となり、支援累計総額は23億円を超えました。

将来の夢や可能性を経済的理由で諦めることがないように、校友を核とした「早稲田ファン」による在学生支援のシステムが、未来の世代を支えます。

“カード利用で母校支援” 早稲田カード あなたとワセダを結ぶ 「第二の学生証」です。

校友会費は振込用紙、銀行・ゆうちょ銀行の口座の自動振替のほか、早稲田カードによる引き落としで簡単にご納入いただけます。早稲田カードは、本学ならびに校友会がクレジットカード会社と提携し、校友と父母の皆さまのために発行しているカードです。最大の特徴は、カード会社の特典・ポイントが通常通り利用者に付与されるほか、ご利用金額の0.5%が大学に還元され奨学金の原資になることです。多彩なカード会員特典も魅力です。資料をお求めの方は下記の二次元バーコードから早稲田カードウェブサイトへアクセスしてご請求ください。

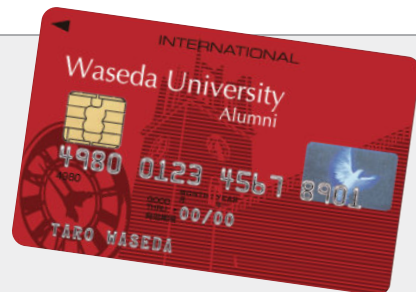


校友会費をご納入の方への 多彩なサービス

- 大学図書館のご利用
- 会報誌「早稲田学報」のご送付
- 校友サロンのご利用
- 福利厚生サービス「WELBOX」のご利用

早稲田カード会員の特典 詳しくはこちら！ <http://wasedacard.jp/merit>

- 早稲田カード協力店ご優待
- カード利用者向けのプレゼントキャンペーン
- 結婚式での総長からの祝電サービス(申し込み制)
- セミナーハウスの付帯施設の利用
- 税理士など稲門士業のご紹介



早稲田カード『西北の風&CAMPUS NOW』キャンペーン

『西北の風&CAMPUS NOW』キャンペーン期間中は、早稲田カードとカード各社でもキャンペーンを実施しています。カード会社によりキャンペーンの内容・期間は異なります。詳細は各社までお問い合わせください。

キャンペーン期間中に早稲田カードをお申し込みされた方全員に、早稲田大学校友会名入れ塗り箸をプレゼントいたします。

キャンペーン期間 2024年2月1日(木)～3月31日(日) ※カード会社によって期間が異なりますのでご注意ください。

早稲田Alumni DCカード

入会キャンペーン実施中！ご入会でめれなくDCハッピープレゼントを100ポイント(500円相当)プレゼント！

●対象：ご入会日が2024年2月1日(木)～3月29日(金)の本人会員
※ご入会日は、カード送付台紙に記載しております。※ポイントは、ご入会月の4か月後末日までに加算します。※ポイント加算までに本カードを退会済ならびに利用停止や会員資格取消事項に該当する方は加算の対象外です。※500円相当とは、1ポイント5円相当の商品に交換した場合の例です。交換比率は交換する商品により異なります。※ご入会には審査があります。また、カード発行にはお時間がかかる場合がありますので、余裕をもったお申し込みをお願いいたします。

早稲田Alumni UCカード

新規ご入会かつカードご利用で
1,000円分キャッシュバック!!



対象期間中に新規ご入会かつ、発行翌月までに1万円以上のクレジットショッピングで、めれなく1,000円分キャッシュバック
対象期間：2024年2月1日(木)～3月31日(日)
※2024年4月15日(月)までに発行された方が対象となります。
※キャッシュバックは2024年7月5日(金)お支払い分のご利用明細に「キャンペーン割引」として金額がマイナス表示されます。※カードを退会している場合、お振り込み時点で引き落とし口座のご登録がない場合は対象外となります。

早稲田Alumni JCBカード／早稲田Parents JCBカード

早稲田カードご入会申し込み(カード発行)後、
会員専用ウェブサービス「MyJCB」へのログインで
1,000円分キャッシュバックキャンペーン実施中！

※お申し込み期間：2024年2月1日(木)～3月31日(日) 2024年4月30日(火) カード発行分まで対象
※キャッシュバック時期：2024年6月10日(月)引き落とし時(予定)
※キャッシュバック金額は、2024年6月10日(月)にお支払い分のご利用代金明細からマイナスで表示されます。当月にお支払いのない場合は、ご登録口座へのお振り込みとなります。
※お振り込み時点でカードを退会、切り替えしている場合や口座設定が完了していない場合は、キャッシュバックの対象なりません。



Alumni



Parents



MyJCBログイン

早稲田Alumni MUFGプラチナ・アメリカン・エクスプレス®・カード

早稲田カード唯一のプラチナ。ご入会でめれなくグローバルポイントを1,000ポイント(5,000円相当)プレゼント！

●対象：ご入会日が2024年2月1日(木)～3月29日(金)の本人会員
※ご入会日は、カード送付台紙に記載しております。

●お申し込み・詳細はこちら

<https://www.cr.mufig.jp/landing/amex/waseda/>
ぜひこの機会にご入会ください！



※ポイントは、ご入会月の4か月後末日までに加算します。※ポイント加算までに本カードを退会済ならびに利用停止や会員資格取消事項に該当する方は加算の対象外です。※5,000円相当とは、1ポイント5円相当の商品に交換した場合の例です。交換比率は交換する商品により異なります。※ご入会には審査があります。また、カード発行にはお時間がかかる場合がありますので、余裕をもったお申し込みをお願いいたします。※このカードは、アメリカン・エクスプレスのライセンスに基づき、三菱UFJニコス(株)が発行・運営しております。「アメリカン・エクスプレス」は、アメリカン・エクスプレスの登録商標です。

早稲田ゴールドカードセゾン

新規ご入会かつカードご利用で
1,000円分キャッシュバック!!

対象期間中に新規ご入会かつ、発行翌月までに1万円以上のクレジットショッピングで、めれなく1,000円分キャッシュバック
対象期間：2024年2月1日(木)～3月31日(日)
※2024年4月15日(月)までに発行された方が対象となります。
※キャッシュバックは2024年7月4日(木)お支払い分のご利用明細に「キャンペーン割引」として金額がマイナス表示されます。※カードを退会している場合、お振り込み時点で引き落とし口座のご登録がない場合は対象外となります。

早稲田Alumni三井住友カード

最大4,000円分相当のVポイントプレゼント！
三井住友カード限定 ご入会・ご利用キャンペーン実施中！

- ① 新規ご入会で2,000円相当のVポイントプレゼント
- ② ①を満たし、利用期間中に税込み3万円以上のご利用でさらに2,000円相当のVポイントプレゼント

※お申し込み期間：2024年2月1日(木)～3月31日(日)
(2024年4月15日(月)承認分まで)
※ご利用期間：ご入会～2024年4月30日(火)まで
便利なオンライン入会をぜひご利用ください。



スマホで簡単！校友会費を ご納入いただくための新サービス！

スマートフォンを利用して、コンビニエンスストアやインターネットバンキングで早稲田大学校友会の会費をご納入いただけるようになりました！

ご希望の方は以下のウェブサイトをご覧ください。

スマホで簡単納入！マイペイメント！早稲田大学 校友会



「進取の精神」と共に歩み続けるWASEDAに

新たな知の拠点、早稲田キャンパス新9号館が誕生します

早稲田キャンパス新9号館建設募金 ご支援のお願い

早 稲田キャンパスの新たな知の拠点として建設する「新9号館」の建設に伴う事業募金として「早稲田キャンパス新9号館建設募金」を2023年10月より開始しました。

今回新たに建設する「新9号館」は、通常の教育研究機能にとどまらず、オープンイノベーションやキャンパスのカーボンニュートラルを実現する施設として、2027年度より利用を開始する予定です。

本施設は、教育・総合科学学術院(教育学部・教育学研究科等)のメイン棟となりますが、全学の学生が利用するコモンスペースをはじめ、学生自身が多様なニーズに応じて学びの場を選択できるような最先端の教育研究環境を調えることで、高い学修効果が期待できます。また、学生や卒業生、教職員等を対象に様々な支援・サービスを提供する総合窓口を整備することで、大学全体のワンストップサービスの拠点となり、全学共通機能のさらなる充実を目指します。

未来を革新する「最先端研究」と新たな時代を切り開く「人材の育成」、そして社会貢献を推進する早稲田大学にさらなるお力添えを賜りたく、ぜひとも「早稲田キャンパス新9号館建設募金」へのご支援を心よりお願い申し上げます。

募集期間

2023年10月～2028年3月

募集金額

【個人】 1口1万円 ※1万円未満のご寄付につきましてもありがとうございます
【団体・法人】 1口の金額は特に定めておりません

目標金額

10億円



建物の中央には外部吹抜空間(バイオフィリックボード)を設けることで、すべての階において緑や自然光を感じられる構造にするとともに、建物内の自然換気を促進します。



新9号館と11号館の間には高木の樹冠で包まれた緑豊かな「木立のひろば」を設け、大隈重信像の背景に、早稲田キャンパスの新たな交流空間を整備します。



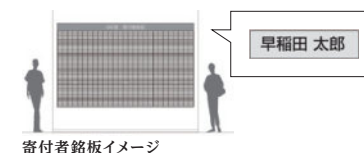
建物西側・南側の外周は、階ごとにセットバックすることで周辺地域への圧迫感を軽減し、「緑のテラス」と名付けた植栽帯を設けることで、植物の緑被効果・蒸散効果により、自然通風時には快適な風が室内に導入できる計画です。第3西門からのアプローチには「緑の小径」を整備し、第3西門側エントランスの前には、昔から残る新宿区登録史跡「富塚跡」をポケットパークとして整備することで、地域の皆様に開放し、心地よいパブリック空間を拡充します。



銘板

多額のご寄付を賜りました方々のご芳名を新9号館内に設置される銘板に末長く顕彰させていただきます。また特段の高額のご寄付を賜りました個人様、法人様におかれましては、通常の銘板と併せて、新9号館の柱などに設置される特大サイズの銘板にて末長く顕彰させていただきます。

銘板サイズ	標準	標準(特別仕様)	特大
【個人】	10万円以上	100万円以上	1,000万円以上
【法人】	100万円以上	1,000万円以上	3,000万円以上
【団体】	30万円以上	100万円以上	—



寄付者銘板イメージ



特大サイズ銘板イメージ
※イメージのため、実際の場所・内容とは異なる可能性があります。

お申し込み方法

1 インターネットでお申し込み

クレジットカード、インターネットバンキング(ペイジー)、Amazon Payのご利用が可能です。スマートフォン・パソコンから簡単にお申し込みいただけます。

2 振込用紙でのお申し込み

専用の振込用紙に必要事項をご記入のうえ、銀行または郵便局でお振込みください。



お申し込みはこちら

寄付に関するお問い合わせは社会連携課までご連絡ください。



早稲田大学総長室社会連携課
〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104 <https://kifu.waseda.jp/>
【TEL】 03-3202-8844 【E-mail】 kifu-ml@list.waseda.jp

新9号館のコンセプト動画や工事の進捗状況などを特設サイトで公開しています。ぜひご覧ください！



WASEDA-PRIDE ~エンジの誇り~ 早稲田スポーツ強化募金 (野球・駅伝・ラグビー)



い つの時代も早稲田の看板を背負い、日々真摯に練習に打ち込む部員の姿、そして脈々と受け継がれてきた文武両道の伝統を体現する部員の姿がありました。特に早稲田スポーツの中でも人気を博してきた野球・駅伝・ラグビーでは、世代にかかわらず多くの方から注目され、また数々のご支援を受け、今日に至る輝かしい伝統を築いてきました。この3部の更なる活躍を期待する多くの校友の声を聞き、2022年12月より「早稲田スポーツ強化募金(野球・駅伝・ラグビー)」を実施しております。いただいたご支援は、3部を中心とした強化のために有効に活用させていただきます。

皆様お一人お一人のご支援が、未来の早稲田スポーツを形作る原動力になります。強い早稲田として輝き続けるため、早稲田が強者であり続けるため、皆様の熱いご支援をお願いいたします。

早稲田スポーツ強化募金(野球・駅伝・ラグビー)ウェブサイト
<https://kifu.waseda.jp/contribution/waseda-sports>



「遺贈」「相続」を通じて 久遠の理想を未来に託す

永 年築き上げた財産を未来に託す方法のひとつとして、本学への寄付を選択いただく事例が増えています。本学では、皆様のご支援を受け継ぎ、それを実現するため、「遺贈」「相続財産」によるご寄付を承っております。

※パンフレットをご希望の方は社会連携課までお問い合わせください

以下の方法でご寄付いただけます

- 【遺贈】 遺言を残すことにより、ご自身の財産の全部または一部をご寄付いただく方法
- 【相続】 故人の生前の想いや、ご遺族様の想いを実現するため、相続財産からご寄付をいただく方法

ただし、いずれの方法でも税制上の優遇措置(相続税が非課税となる)が受けられます。

※相続財産からのご寄付の場合、相続税の申告期限に注意が必要です。



お手続きの流れはこちら

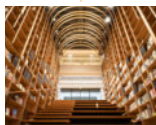
あなたの寄付でできること

頑張っている
学生を
支援したい

早稲田スポーツを
応援したい

芸術・文化事業を
支援したい

「世界で輝く
WASEDA」の
実現を支援したい



本学にご寄付をいただく場合、用途をご指定いただけます。遺言の場合、具体的な寄付指定先の記載がなくとも、「想い」を記載いただければ、その目的に応じて活用させていただきます。また、相続財産の場合、故人の想いをお聞かせいただき、ご納得のいく寄付指定先を決定するためのお手伝いをさせていただきます。

すべてのご寄付の問合せ先

早稲田大学総長室社会連携課

【住所】 〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104

【TEL】 03-3202-8844 (土・日・祝日を除く)

【FAX】 03-5286-9801

【E-mail】 kifu-ml@list.waseda.jp

【URL】 <https://kifu.waseda.jp>



早稲田大学応援基金 寄付者ご芳名(法人様)
2023年度に50万円以上のご寄付をいただいた法人様をご紹介します。

- ・正伸空調株式会社
- ・東亜管財株式会社
- ・株式会社富士P&B
- ・株式会社ボーダー

※法人名五十音順で掲載(敬称略)※2023年10月末時点

Message From Founder Okuma

今回の特集では、産学官連携を推進するWOIについて紹介しています。

「集合の力」について、早稲田大学の創設者である大隈重信は、
次のような言葉を残しています。

家を造るといったのは決して無意味ではない。

家がなくても御^お堂^{どう}がなくても御経は読めぬことはない。

大道に於てでも御経は読める。

野外に於ても研究は出来る。

しかしながら多数の人はどうしても集合しなければならぬ。

この集合の力が実は恐るべく偉大なものである。

この集合がないと人の力は散漫に流れるのである。

どうしても力は集合しなくてはならぬ。

出典：『大隈重信演説談話集』早稲田大学編（岩波文庫）
協力：早稲田大学歴史館



WASEDA University
早稲田大学